

令和6年度を見据えて協議をスタート (竹田小・前山小の教職員)

6月24日の統合準備委員会において令和6年度に前山小学校と竹田小学校の両校が統合し、竹田小学校の校舎を使用することが承認されました。その後、前山・竹田地域部会において、通学支援の方法や校名等について協議を重ねているところです。

こうした市教委主催の全体協議とは別に、学校の教育課程等に関わることは両校の教職員で検討を重ねていくことから、8月1日、両校の教職員が竹田小学校で1回目の検討会を開催しました。



全体で今後のスケジュール等を確認した後、校時や学校行事等について話し合う教育課程部会、生活のきまりや持ち物等について話し合う生活指導部会、特別活動・委員会・クラブ活動等について話し合う特別活動部会、総合的な学習の時間やふるさと学について話し合う総合カリキュラム部会、体育や儀式等の行事について話し合う行事部会と統合に向けた行事等について話し合う管理職部会の6つの部会に分かれて、それぞれの学校の取組に



ついでの情報共有と統合校においてどのようにしていくかを協議しました。

令和6年度の統合についてこの時期から話し合いを始めたのは、例えば、学校でのきまりや朝の時間の使い方、行事の持ち方、総合のカリキュラム等々、統合を待たずに来年度から同じ教育課程で両校が学校運営することができれば、子どもたちはより安心して統合を迎えられるでしょうし、先生方も統合当初のきまり等の違いなどに戸惑うことなく、目の前にいる



子どもたちのことにより注力できると考えたからです。

丹波市では、これまで青垣地域で学校統合があり、来年度は吉見小と鴨庄小が統合となります。本校にこれまでの学校統合に関わった先生はいませんが、部会の話し合いでは、子どもたちにどんな力をつけようかと取り組んでいて、それぞれのよさを高め合うにはどうすればよいかや、子どもたちがよりスムーズに学校に馴染めるには、また児童数が増えることからより効率的にすることは何かなど、様々な観点から話し合いがなされていたことが後の報告会でよく分かりました。

次回は8月8日、前山小を会場にして新たな項目についても

協議をしていく予定です。